



KAWAI 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月14日

上場会社名 株式会社河合楽器製作所 上場取引所 東
コード番号 7952 URL <https://www.kawai.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 河合 弘隆
問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長執行役員 (氏名) 河合 健太郎 TEL 053-457-1226
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	59,934	△7.4	2,770	△25.9	3,367	△18.0	2,117	△15.2
2023年3月期第3四半期	64,692	3.3	3,737	△22.8	4,107	△20.5	2,498	△27.7

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 4,847百万円 (△14.7%) 2023年3月期第3四半期 5,681百万円 (43.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	246.36	—
2023年3月期第3四半期	290.70	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	73,080	42,578	58.0
2023年3月期	70,818	38,461	54.0

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 42,359百万円 2023年3月期 38,261百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	85.00	85.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	95.00	95.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有
配当予想の修正については、本日（2024年2月14日）公表いたしました「配当予想の修正（増配）についてのお知らせ」をご覧ください。

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	82,700	△5.8	4,500	△10.8	5,000	△11.3	3,200	△12.9	372.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	9,011,560株	2023年3月期	9,011,560株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	415,390株	2023年3月期	416,813株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	8,595,586株	2023年3月期3Q	8,594,793株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1.（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に当たり適用した特有の会計処理)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、資源価格高騰や断続的な円安による物価上昇のため消費者マインドの悪化、実質購買力の低下が懸念されるものの、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて停滞していた経済活動の正常化が進み、緩やかな回復基調となっております。

世界経済は、ウクライナ危機に端を発した物価高騰や世界的な金融引き締めによる経済活動停滞の影響など不安定な国際情勢により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経営環境のもと、当社グループは第7次中期経営計画「Resonate 2024」（2023年3月期から2025年3月期）で掲げる、「顧客接点の進化」「需要拡大領域の強化」「コスト増への対応」の3つの戦略に重点的に取り組み、持続的な成長と中長期的な企業価値向上の実現に向けた活動を行っております。

商品政策としては、新たにサンプリングしたフルコンサートピアノ『SK-EX』の音を搭載した木製鍵盤のスタンダードモデルとして、グランドピアノの臨場感を追求し、操作パネルなどの改良により演奏性と操作性を改善した電子ピアノ『CA501』『CA401』を昨年6月に発売いたしました。

創立90周年を記念して2017年に創設した『Shigeru Kawai国際ピアノコンクール』は、昨年8月に第4回を開催し、世界21の国と地域から237名のピアニストがエントリーしてハイレベルな演奏が繰り広げられ、大きな反響をいただきました。引き続き次世代を担うピアニストを世界各地から発掘・育成するとともに、国際交流の推進や世界の音楽文化の振興を目指してまいります。

また、昨年9月にポーランド・ワルシャワにおいて、ショールームやコンサートホールを備えたポーランド支店をオープンしました。世界3大ピアノコンクールの1つ、ショパン国際ピアノコンクールの開催地であり、歴史ある音楽の街ワルシャワに位置するポーランド支店において、主要アカデミーや音楽学校、著名アーティストなどへの積極的な販促活動の強化を行ってまいります。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は 59,934百万円（前年同期比 4,757百万円減）、営業利益は 2,770百万円（前年同期比 966百万円減益）となり、経常利益は 3,367百万円（前年同期比 739百万円減益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は 2,117百万円（前年同期比 380百万円減益）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(楽器教育事業)

楽器教育事業は、『Shigeru Kawai』をはじめとするグランドピアノの販売においては前期に引き続き国内で好調に推移いたしました。中国の経済活動の鈍化や巣ごもり需要が一定の落ち着きを見せたこと、物価の上昇に伴う消費者マインドの悪化などにより、売上高は 49,715百万円（前年同期比 4,581百万円減）となり、材料費の高騰などにより営業利益は 2,114百万円（前年同期比 571百万円減益）となりました。

(素材加工事業)

素材加工事業は、自動車関連部品の受注が減少したことなどもあり、売上高は 7,286百万円（前年同期比 738百万円減）となり、営業利益は 610百万円（前年同期比 405百万円減益）となりました。

(その他)

その他の事業は、医療機関向けIT機器販売の受注増加などにより、売上高は 2,932百万円（前年同期比 562百万円増）となり、営業利益は 91百万円（前年同期比 46百万円増益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、為替変動による商品及び製品の増加などにより 73,080百万円（前期末比 2,261百万円増）となりました。

負債合計は、長期借入金の減少などにより 30,502百万円（前期末比 1,855百万円減）となりました。

純資産合計は、為替換算調整勘定の増加などにより 42,578百万円（前期末比 4,117百万円増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年11月9日に公表いたしました内容から変更はありません。

なお、業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものでありますが、実際の業績は今後発生する様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

また、当期の期末配当予想につきましては、当期の業績や財政状態を総合的に勘案し、前回予想の1株当たり85円から10円増配し、1株当たりの期末配当予想を95円といたします。

詳細につきましては、本日(2024年2月14日)公表しました「配当予想の修正(増配)についてのお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,315	17,849
受取手形及び売掛金	9,657	9,395
商品及び製品	9,617	11,664
仕掛品	1,781	1,816
原材料及び貯蔵品	6,068	6,691
その他	2,424	3,017
貸倒引当金	△177	△206
流動資産合計	48,687	50,228
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,106	4,038
機械装置及び運搬具(純額)	1,752	1,790
土地	6,388	6,409
その他(純額)	1,288	1,395
有形固定資産合計	13,535	13,634
無形固定資産	610	569
投資その他の資産		
投資有価証券	5,339	6,229
繰延税金資産	1,142	894
その他	1,671	1,702
貸倒引当金	△168	△178
投資その他の資産合計	7,984	8,648
固定資産合計	22,130	22,852
資産合計	70,818	73,080
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,655	6,449
短期借入金	5,217	5,227
未払法人税等	904	329
賞与引当金	942	471
製品保証引当金	215	238
その他	5,422	5,333
流動負債合計	19,357	18,048
固定負債		
長期借入金	3,709	3,093
環境対策引当金	4	3
株式報酬引当金	15	25
退職給付に係る負債	8,117	8,208
資産除去債務	592	584
その他	561	537
固定負債合計	12,999	12,453
負債合計	32,357	30,502

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,122	7,122
資本剰余金	1,282	1,282
利益剰余金	27,923	29,306
自己株式	△989	△985
株主資本合計	35,339	36,727
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	410	1,039
為替換算調整勘定	2,573	4,640
退職給付に係る調整累計額	△62	△47
その他の包括利益累計額合計	2,921	5,632
非支配株主持分	199	218
純資産合計	38,461	42,578
負債純資産合計	70,818	73,080

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	64,692	59,934
売上原価	47,578	44,090
売上総利益	17,113	15,844
販売費及び一般管理費	13,375	13,073
営業利益	3,737	2,770
営業外収益		
受取利息	58	69
受取配当金	79	86
固定資産賃貸料	37	42
為替差益	266	472
その他	56	52
営業外収益合計	497	723
営業外費用		
支払利息	58	53
寄付金	30	39
その他	38	33
営業外費用合計	128	126
経常利益	4,107	3,367
特別利益		
固定資産売却益	0	4
受取補償金	—	32
特別利益合計	0	37
特別損失		
固定資産除却損	24	7
特別損失合計	24	7
税金等調整前四半期純利益	4,083	3,397
法人税等	1,574	1,276
四半期純利益	2,509	2,120
非支配株主に帰属する四半期純利益	10	3
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,498	2,117

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	2,509	2,120
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	72	629
為替換算調整勘定	3,061	2,095
退職給付に係る調整額	56	14
持分法適用会社に対する持分相当額	△17	△12
その他の包括利益合計	3,172	2,726
四半期包括利益	5,681	4,847
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,647	4,828
非支配株主に係る四半期包括利益	34	18

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合は、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	楽器教育	素材加工	計				
売上高							
外部顧客への売上高	54,297	8,024	62,321	2,370	64,692	—	64,692
セグメント間の 内部売上高又は振替高	2	3	5	97	102	△102	—
計	54,299	8,027	62,327	2,467	64,795	△102	64,692
セグメント利益	2,685	1,016	3,701	45	3,747	△9	3,737

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報関連事業、金融関連事業及び保険代理店事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△9百万円には、セグメント間取引消去44百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△53百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	楽器教育	素材加工	計				
売上高							
外部顧客への売上高	49,715	7,286	57,001	2,932	59,934	—	59,934
セグメント間の 内部売上高又は振替高	2	0	2	109	112	△112	—
計	49,718	7,286	57,004	3,042	60,046	△112	59,934
セグメント利益	2,114	610	2,725	91	2,816	△46	2,770

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報関連事業、金融関連事業及び保険代理店事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△46百万円には、セグメント間取引消去△4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△41百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。